



学校教育目標 「 豊かな心を持ち 自ら学び 健康でたくましく生きる児童の育成 」

- あいさつをする子ども
- かんがえる子ども
- さいごまでがんばる子ども
- きまりを守る子ども



新聞・テレビの報道の通り、全国、あるいは本市でも、子どもたちがSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）の「フェイスブック」「LINE（ライン）」「ブログ」「プロフ」また、「各種オンラインゲームのコミュニティー」などに画像や動画を流出させたり、有害情報に接続して事件に巻き込まれたり、掲示板に実名入りで誹謗中傷を書き込まれたりする事件が相次ぎ、子どもたち自身が被害者にも加害者にもなるというケースが発生しています。

また、携帯電話・スマートフォン等の使用に多くの時間や費用を浪費したり、携帯電話・スマートフォン等への依存の状況が顕著になったりして、学習活動や日常生活に支障をきたすケースも増えてきています。

本校では、類似した事案は発生していませんが、保護者の皆様へ、以下のようにお願いをいたします。

○ 携帯電話・スマートフォンを持たせた場合は

私としては、小学生に携帯電話・スマートフォンは不必要だと考えています。中でも、スマートフォンは、インターネットにつながり放題のパソコンを持たせているものとお考えください。ネット上に有害サイトも多数存在する現在、お子さんの閲覧するサイト、またコミュニティーサイトで誰とどういう交流をしているか、すべて把握することはできません。

しかし、何らかの事情でやむを得ず持たせる場合もあるでしょう。その時は、使い方や使う時間などの約束を守らせてください。また、場合によってはフィルタリング・サービス等もご検討ください。

○ SNS（ソーシャルネットワークサービス）と小学生

メッセージ上の言葉の行き違いや、不用意な写真のアップロードなどがトラブルのもとになっています。夜遅くまでメッセージを送り合って話がこじれたり、決まったグループ内でうわさ話をし合ったりすることで、場合によっていじめのような状況に発展することも考えられます。

さらに、LINEなどの特定のアプリ内で、他校の児童・中学生や会ったこともない見ず知らずの第三者まで入り込み、解決が困難なトラブルが起きるケースもあります。自らの正しい判断が困難な小学生が、本当に心配です。

○ SNS等に関するトラブル、学校での解決は困難

学校では、ネットエチケットにかんする学習を、高学年の児童に対して実施しています。

しかし、ゲーム、携帯電話やスマートフォンを通じてのネットトラブルについて、学校側ではその詳細が把握しきれません。他校の児童・生徒が含まれた場合、その困難さは一層増していきます。トラブルは、各ご家庭での解決にゆだねることになります。

○ SNS等の危険性を、ご存じですか？

繰り返しになりますが、インターネットは大変便利である反面、大きな危険もはらんでいます。

中でも、LINEは、ポピュラーなアプリケーションになってきていますが、一方で、利用者が増えてきた分、性犯罪に巻き込まれる子どもたちが、年々増えています。

悪意のある大人たちは、こうしたアプリを通して、子どもたちを狙っているのは半ば揺るぎない事実だといえます。おかしいのは、判断力のない子どもなのでしょうか、こうした犯罪者でしょうか。

また、いったんネット上にアップした画像や文字は、一生消すことはできません。

刑事事件に発展したネットトラブルの例

- 掲示板に「埼玉の小学生の女子を殺害する」などと十数回に渡って書き込み、補導
『面白半分やった。こんなに大ごとになるとは思わなかった』（千葉県 10歳女子）
- 18歳男子が自殺。「学校裏サイト」に自殺者の裸の写真を掲載するなどし、逮捕
『いじめではなく、罰ゲームだった』（兵庫県 17歳男子）
- 同級生のIDとパスワードを使ってオンラインゲームに不正アクセスし、補導
『同級生のキャラクターやアイテムを見たかった』（愛知県 12歳の児童3名）
- 携帯電話から掲示板に「市立中学3校内に爆弾がある」などと爆破予告を書き込み、逮捕
『爆破予告が書き込まれた掲示板を見たことがあり、自分もやってみて周りの反応を見たかった』（埼玉県 16歳男子）
- 「プロフ」で仲間が中傷された仕返しに13歳の女子中学生に暴行し、逮捕
『書き込みが敬語ではなかった。ケンカを売るような書き込みをされた』（東京都 15歳女子ら少年少女計7人）

今回の学校だよりは、お願いばかりになってしまいました。赤崎小の子どもを守りましょう。どうぞ、ご理解とご協力をお願い致します。